

(仮称) 次期佐原広域交流拠点運営等事業に関するサウンディング調査 調査結果

1. サウンディング調査の目的

本サウンディング調査は、佐原広域交流拠点（以下、「本施設」）の次期事業において、事業条件（事業スキーム、業務範囲等）や第1期事業からの変更が考えられる点等について、民間事業者から広く意見や提案を聴取し、民間事業者の選定手続に反映することを目的に実施しました。

2. サウンディング調査のスケジュール

日程	内容
令和4年9月2日（金）	資料の公表、参加募集開始
令和4年9月30日（金）	資料開示申込・参加申込の締切
令和4年10月12日（水）～24日（月）	個別対話の実施

3. サウンディング調査の実施状況

- 参加者数..... 4社（法人又は法人のグループ）
- 開催方法..... WEBによる個別対話

4. サウンディング調査の結果概要

(1) 参画意欲、関心のある業務・施設へのご意見・ご要望

- ▶ 4社すべてが次期事業への参画意欲を有し、グループでの参画を想定していました。
- ▶ 投資・改修・運営・プロジェクトマネジメント等、各社が様々な役割での参画を想定していました。

(2) 次期事業の方向性へのご意見・ご要望

- ▶ 本施設の有する4つの拠点機能（防災拠点、水辺交流拠点、文化交流拠点、交通拠点）を強化する方向性について、施策の提案や実現可能性などに関する意見がありました。
- ▶ 防災拠点機能の強化に関して、防災教育等の拡充による認知度の向上などの意見の他、防災教育展示に係る情報の更新や太陽光発電設備及び蓄電設備が必要という意見がありました。
- ▶ 水辺交流拠点の機能強化に関して、水辺の更なる利活用に対する意見や、川辺のオープン空間を飲食に活用する意見がありました。
- ▶ 文化交流拠点機能の強化に関して、増床による地産地消レストランや川への眺望を活かしたレストラン整備などの意見がありました。一方で、レストランの運営は収益の確保に留意が必要という意見がありました。また、地元特産品を増やしてほしいとする意見、物販機能強化の優先度が飲食機能強化より高いという意見がありました。
- ▶ 交通拠点機能の強化に関して、渋滞対策・利用者増のため駐車場の増設が必要という意見がありました。その他、レンタサイクル・観光案内・舟運の活用・強化に関する意見がありました。
- ▶ 別添資料4にて開示した改修工事案について、内装の更新による施設美観の向上、ウォッシュレット設置などの意見もありましたが、概ね異論はありませんでした。

(3) 次期事業の事業条件

- ▶ 次期事業も引き続き国・市による一体的な事業実施が必要という意見がありました。
- ▶ 次期事業での改修工事の実施について、代替営業スペース等を考慮すれば施設供用中でも実施可能という意見がありました。
- ▶ 機能強化や改修はサービス購入型での実施が望ましいという意見がありました。
- ▶ 独立採算・付帯事業部分は、災害や感染症のリスク分担、施設利用料を適切に協議することが望ましいという意見がありました。
- ▶ 事業期間は、大規模修繕の取扱いを整理したうえで適切に設定することが必要という意見がありました。

(4) グリーンインフラの機能向上・活用メニュー（案）

- ▶ キャンプ・グランピング・BBQなどは誘客・収益増につながる一方、増水リスクや高規格堤防上での制約を考慮した利用条件の整理が必要という意見がありました。
- ▶ 水辺教育実施や、水辺活用のためのハード整備は、公共負担が望ましいとの意見がありました。

(5) その他のご意見・ご要望

- ▶ 具体的な今後のスケジュールや過去に実施したイベント毎の来客数、対象エリアのハザードマップなどの情報を提供してほしいという意見がありました。
- ▶ 敷地を活用して、民間・公共施設を誘致する可能性もあるという意見がありました。